

加工食品における食品害虫の発育

—カップ麺製品でのノシメダラメイガの発育日数—

【技術の特徴】

- ・ノシメダラメイガは、貯蔵穀物や乾燥加工食品に混入する頻度の高い食品害虫である。
- ・加工食品に生きた**ノシメダラメイガ幼虫**が発見された場合、その**発育ステージと食品における発育日数**から、混入時期の推定が行われる。
- ・しかし、多くの加工食品において本種の発育日数は不明である。
- ・カップ麺製品にも本種の混入が報告されている。
- ・カップ麺製品を餌にした場合の本種の発育日数を調べ(25°C・70%RH・16L8D)、**混入時期推定のための基礎データ**とした。
- ・カップ麺製品の食材の組み合わせが本種の発育に対する影響を調べた。

ノシメダラメイガ



幼虫

成虫

【研究の内容】

カップ麺製品の食材の組み合わせにおけるノシメダラメイガの発育

乾燥食材	区分名称	試験個体数	平均発育日数	羽化率(%)
キャベツ・ネギ+トウモロコシ+肉片	乾燥野菜+肉片	50	28.1	92
トウモロコシ	乾燥穀物	50	35.3	84
キャベツ・ネギ+トウモロコシ+肉片+油揚げ麺	製品	40	37.7	77
キャベツ・ネギ+トウモロコシ	乾燥野菜	50	38.7	78
油揚げ麺	油揚げ麺	50	39.7	58
肉片	肉片	50	50.2	14

発育日数: 孵化幼虫から成虫まで

- ・カップ麺製品(中華麺)を餌とした場合の発育日数は平均37.7日。
- ・最も発育日数が短かった食材は、「乾燥野菜+肉片」の平均28.1日。
- ・最も発育日数が長かった食材は、「肉片」の平均50.2日。
- ・幼虫はカップ麺製品内で発育に最も有効な食材を食べ分けてはいない。



幼虫はキャベツ、トウモロコシ、肉片、油揚げ麺を食べる

【今後の展開】

- ・カップ麺製品の味付けや具材の種類が本種の発育に与える影響を調べる。

【参 考】

- ・宮ノ下明大・今村太郎・古井 聡・曲山幸生(2017a)カップ麺製品の食材の組み合わせがノシメダラメイガの発育に与える影響. ペストロジー, 32:7-9.
- ・宮ノ下明大・今村太郎・古井 聡・曲山幸生(2017b)カップ麺製品にノシメダラメイガ孵化幼虫200個体を投入した時の発育遅延. 都市有害生物管理, 7:11-14.